

# 2024年度 実践を基にした 多文化ソーシャルワーク研修

神奈川県は、在日コリアン、華僑・華人、日系人に加え、技能実習等で活躍する若い外国人が増えており、保育園・幼稚園、義務教育課程では「多様性」にあふれています。

本研修は多彩な講師陣と実践的な演習を兼ね備えています。この研修を通して「外国人支援」に必要な制度や社会資源等、「多文化共生」の視点やチームづくりを学びませんか。



講師：移住連代表鳥井一平氏 他

日時：1日目 2024年**11月2日(土)** 10:00～17:30

2日目 2024年**11月3日(日)** 9:30～16:20(解散16:30過ぎ)

会場：ウィリング横浜 12階126-7号室 (京急・地下鉄上大岡下車)

開催方法：対面研修 (1日ずつの参加及び代理での参加はできません)

対象：社会福祉士 (会員・非会員を問いません)  
外国人相談支援に関心のある方等

定員：先着50名

参加費：11,000円 (一度入金された参加費は、返金いたしません)

※研修内容は裏面「研修内容」をご覧ください。

※お申し込みはホームページ <http://www.kacsw.or.jp/> か2次元コードよりお申し込みください。

## ※ 認定社会福祉士研修

この研修は、**認定社会福祉士認証研修**です。2日間すべてのプログラムに出席し、事後課題の評価が「可」になれば、研修単位を取得できます。

①研修認証番号：20170023 / 研修単位：1単位

②科目 / 区分：分野専門・地域・多文化分野 / 群：対象者別科目 / 科目名：対象者別科目

③日本社会福祉士会生涯研修制度の単位は、専門課程1単位となります

主催：公益社団法人神奈川県社会福祉士会多文化ソーシャルワーク委員会



## 研修目的とねらい

複雑な生活課題を抱えながら、地域で暮らす外国人の方々に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援ができるのでしょうか。本研修では多文化共生をキーワードに、外国人支援ソーシャルワークの視点とあり方を学び、外国人の生活課題を理解し、潜在的ニーズを把握し、支援計画を立てるソーシャルワーク実践力を身につけることを目指します。当研修の講師陣は、外国人当事者を含む外国人支援の実践者です。

## 申し込み・お問合せ先

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17-2 神奈川県社会福祉センター4階

TEL 045-317-2045 FAX 045-317-2046 受付時間 平日月～金曜日9～17時

ホームページ <http://www.kacsw.or.jp/> E-mail [info@kacsw.or.jp](mailto:info@kacsw.or.jp)

研修内容

	科目名	形式	内容
1 目	10:00~10:10	オリエンテーション(10分)	
	10:10~11:10 (60分)	科目1 「現代日本における多文化ソーシャルワークの必要性－社会福祉士としての取り組み－」 講師：木村 有孝 (神奈川県社会福祉士会 多文化ソーシャルワーク委員会副委員長)	講義 グローバル化と多文化共生について。ソーシャルワークにおける多文化理解の必要性。神奈川県社会福祉士会の取り組み等。
	11:10~11:15	休憩(5分)	
	11:15~12:45 (90分)	科目2 「多文化共生社会の実現－実践から学ぶ－」 講師：鳥井 一平(移住連代表理事)	講義 移住連の活動を通して見えてきた、多文化共生の理念と原則、ソーシャルワーカーの取り組みなどについて。
	12:45~13:45	昼食(60分)	
	13:45~15:15 (90分)	科目3 「外国人の在留資格等の基礎知識」 講師：笠間 由美子(行政書士)	講義 日本に在留する外国人の状況、出入国管理と難民認定法の概念、法的枠組みとしての在留資格とソーシャルワーク実践など。
	15:15~15:25	休憩(10分)	
	15:25~16:25 (60分)	科目4 「外国人に適用される社会保障、福祉サービスの現状」 講師：神谷 秀明 (横浜市元生活保護ソーシャルワーカー)	講義 外国人の福祉問題に関連する社会保障制度、社会福祉サービスの理解と、活用の際の配慮について学ぶ。
	16:25~16:35	休憩(10分)	
	16:35~17:35 (60分)	科目5 「外国人への医療通訳サービスの課題－MIC かながわの実践から－」 講師：井出みはる (国際親善総合病院、MIC かながわ)	講義 外国人への医療・通訳サービスの活用 実践場面における配慮点や課題について、外国人通訳の実演も加え、学ぶ。
	計 360 分		
2 目	9:30~12:00 (150分)	科目6 事例研究(グループワーク) コーディネーター： 方 こすも (母子生活支援施設カサ・デ・サンタマリア相談員) 野田 有紀 (神奈川県立保健福祉大学専任講師)	演習 婦人保護、教育・児童、高齢者、精神保健などの分野の事例を出し合い、グループでディスカッションする。
	12:00~13:00	昼食(60分)	
	13:00~14:30 (90分)	科目7 「外国人介護人材との協働」(先駆的ソーシャルワークの実践) 講師：井口 健一郎 (特別養護老人ホーム潤生園 施設長)	講義 外国人介護士を職場に迎える際の留意点と先駆的なソーシャルワーカーの役割について、外国人介護士を招いて学ぶ。
	14:30~14:40	休憩(10分)	
	14:40~16:10 (90分)	科目8 「外国人の視点から多文化ソーシャルワーク実践を考える」 講師：斐 安 /パイアン (かながわ外国人すまいサポートセンター理事長)	講義 外国人が考える共生社会づくりの課題と実践、社会福祉士に期待すること等。
	計 330 分		